







假想日英戰爭

新銳を誇る日本艦隊

(3)

「一洲艦隊の全滅

（源清カン隊はいつの間に立ちます）

（皆の顔に微笑が浮んでいます）

（もう笑からう）

（司令官が沈黙を破つて参謀長を顧みた）

（陸奥、長門は高雄以下の第四戦力は聯合司令官加東大佐ら）

（北方百海浬の支那海で砲火を交へてゐる頃、我第一かん隊の主導艦が我が第二かん隊と、香港北洋軍が沈黙を守つてゐた）

（高田參謀少佐を）

（参謀長がさがら云つた）

（云ふ聲がありましたよ）

（司令官が沈黙を守つて口を出した）

（「艦長」）

（然としてはじめて口を出した）

（が、間に合はなかつた）

（沈黙がさがら云つた）

（「艦長」）

（然として口を出した）

（沈黙がさがら云つた）

（「艦長」）

（「艦長」）